

第53回(令和2年度)「医学研究助成」対象者

- 研究課題**
1. 神経免疫疾患の病態と治療
 2. ゲーム障害の実態・病態・治療
 3. 正常圧水頭症による認知症の診断・治療
 4. HBVの根絶は可能か？

(課題別五十音順)

研究課題	研究者	研究主題
1	医薬基盤・健康・栄養研究所 サブプロジェクトリーダー 飯島 則文	神経変性疾患を引き起こす自己反応性活性化 T細胞の分化誘導機構とその機能の解明
1	藤田医科大学 准教授 植田 晃広	脂質ラフト構造の変化に基づく神経免疫性疾患急性期治療法の開発:高脂血症治療薬で脂質ラフト上の標的抗原を隠すことにより神経障害は回避できるのか？
1	名古屋大学環境医学研究所 助教 小野 大輔	新規神経変性疾患モデルマウスを用いた概日リズム調節メカニズムの解明
1	広島大学原爆放射線医学科学研究所 教授 神沼 修	核移植クローン技術を用いた神経免疫疾患病態の解析
1	大分大学医学部 助教 神山 長慶	ジカウイルス感染による神経変性疾患増悪化の分子機構の解明とそれに基づく新規予防戦略の開発
1	呉医療センター・中国がんセンター 医師 倉重 毅志	抗HMGCR抗体陽性壊死性筋症における LDLコレステロール調整を介した病態の解明
1	北海道大学大学院医学研究院 助教 河野 通仁	IKAROS欠損症患者由来iPS細胞を用いた脊髄炎、脳炎の病態解析
1	東京女子医科大学 特命担当教授 清水 優子	多発性硬化症・視神経脊髄炎関連疾患合併妊産婦の血清Neurofilament L鎖を用いた治療戦略
1	千葉大学医学部附属病院 助教 鈴木 佐和子	免疫チェックポイント阻害剤の副作用として発症する下垂体障害におけるHLAを介した免疫応答機構の解明
1	大阪大学蛋白質研究所 教授 疋田 貴俊	モデルマウスを用いた多発性硬化症の病態解析
1	自治医科大学 助教 山崎 礼二	ミトコンドリア形態制御因子を標的とした多発性硬化症の病態解明および新規治療法の開発
2	新潟大学大学院医歯学総合研究科 特任講師 杉本 篤言	脳磁図(MEG)によるゲーム障害へのグループ心理療法の効果測定
3	横浜市立大学大学院医学研究科 客員研究員 高瀬 創	正常圧水頭症における新規神経炎症機構の役割:神経索路画像と分子生物学的アプローチを用いたトランスレーショナル研究
3	東京医科歯科大学 講師 服部 高明	特発性正常圧水頭症の認知機能障害の病態生理と神経基盤の解明
3	大阪大学大学院医学系研究科 特任准教授 細見 晃一	AIを用いた正常圧水頭症による認知症の診断手法の開発
3	滋賀医科大学 助教 山田 茂樹	特発性正常圧水頭症患者のアルツハイマー型認知症併存を判別する認知機能評価の確立
4	国立感染症研究所 室長 加藤 孝宣	ワクチンエスケープ変異株に有効な新規HBワクチンの開発
4	冲中記念成人病研究所 研究員 鈴木 文孝	B型慢性肝疾患からのHBs抗原陰性化に関係する因子の検討およびHBs抗原陰性化を目指した新たな治療法の確立
4	九州大学大学院 助教 戸島 剛男	ゲノム情報に基づく肝移植後B型肝炎再発制御を目指した革新的治療戦略の構築
4	福井大学学術研究院医学系部門 教授 中本 安成	獲得免疫反応が誘導する肝細胞内HBVcccDNA治療標的分子の探索

第29回(令和2年度)「医学研究特別助成」対象者

(第51回(平成30年度)「医学研究助成」研究報告を対象)

- 研究課題**
1. 放射線治療法の選択
 2. 正常眼圧緑内障の治療
 3. 肝炎ウイルス排除後の発癌
 4. 頸動脈プラークの治療法の選択

(課題別五十音順)

研究課題	研究者	研究主題
1	大阪国際がんセンター プロジェクトリーダー 三吉 範克	新規初代培養細胞を用いた放射線感受性予測と個別化治療法の構築
3	信州大学医学部 助教 城下 智	C型慢性肝炎患者におけるウイルス学的着効後の肝発癌予測に対するAutotaxinの有用性
3	国立感染症研究所 主任研究官 渡士 幸一	C型肝炎ウイルス治療後に残る非可逆的脂質代謝異常の分子基盤解明および制御法開発